

更なる安全性の向上の為に



歯科用CTを新設致しました。

当院は9月より新しく最先端の歯科用CT RevoluXを導入しています。

このCT装置は、歯やあごの骨を立体的に細かく診断できるだけでなく、従来の歯科用CTではできなかった骨質（骨の固さ）の診断を正確にすることができる最先端の装置です。

RevoluX

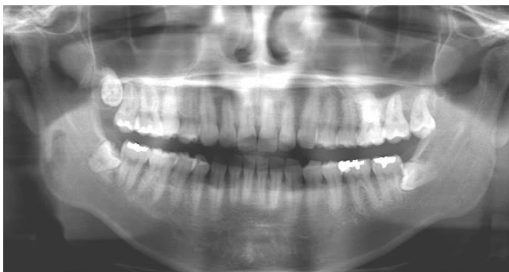


| 従来のレントゲンとの違い ~立体で把握~

従来のレントゲンでは2次元の平面画像しか得られません。

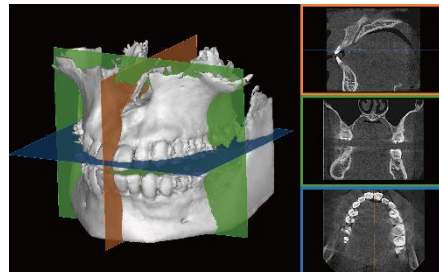
一方、歯科用CTを用いると3次元の立体画像が得られるので、平面画像ではわからなかった歯やあごの骨の詳細な立体構造や神経の位置などを精度高く把握することができ、より適切な診断・治療が可能になります。

従来のパノラマレントゲン



2次元の平面画像のみ

歯科用CT



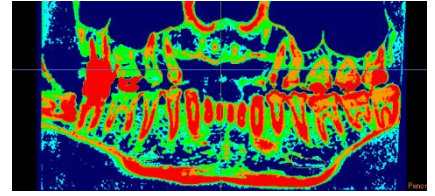
立体で把握

| 他の歯科用CTとの違い

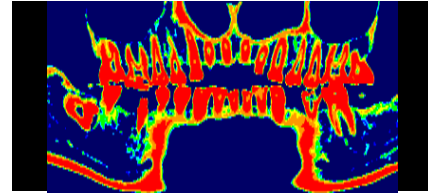
1. 正確に骨質を把握

他の歯科用CTは歯やあごの骨を立体的に把握することはできるものの、骨質(硬さ)について正確に把握することはできません。

一方で、当院の歯科用CTは骨質(硬さ)を正確に計測できるため、骨質(硬さ)を事前に把握しておくことが重要であるインプラント治療に特に有効です。当院の歯科用CTは数ある歯科用CTの中でも特に優れた性能を持つ装置です。



硬いあごの骨

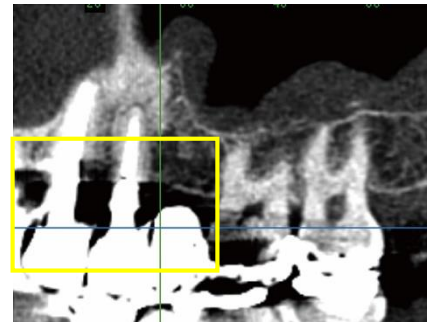


軟らかいあごの骨

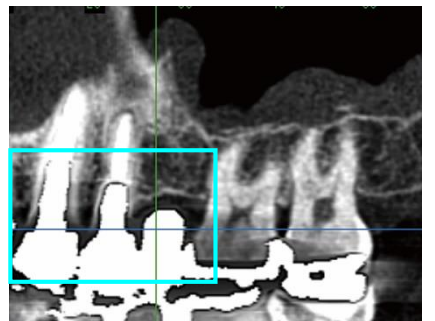
2. 金属の影響を除去

口の中は体の他の部分とは違い、歯の詰め物や被せものとして金属があります。金属はX線を通しにくいので、その影響でこれまでのCTでは周りの骨の状態が把握できないことがありました。

当院の歯科用CTは金属の影響を除去するプログラムを搭載していますので、他のCTでは金属の影で映らない部分の骨でも診断することができます。



これまでのCT: 金属の周りが黒くなり映っていません。

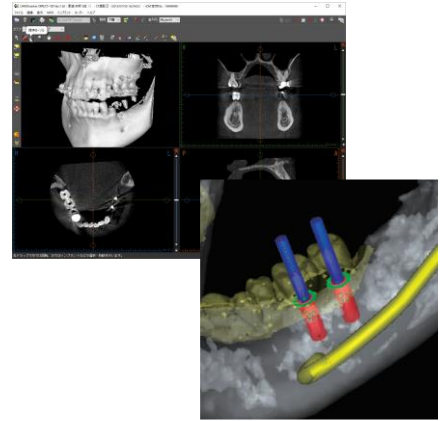


当院の歯科用CT: 金属の周りでも骨の状態を診断できます。

インプラント治療がより安全・確実に

インプラント治療はあごの骨の中にインプラントを埋める治療で、あごの骨がどういう形態になっているか？神経はどの位置にあるか？隣り合う歯との関係性はどうか？などを把握するために立体的に診ることが欠かせません。

そういった立体的な把握に加え、骨質(硬さ)もわかる当院の歯科用CTは他のどの歯科用CTよりもインプラント治療に最適であるといえます。

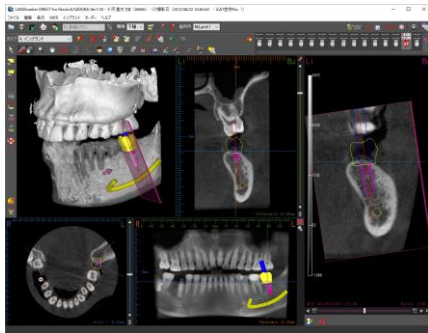


さらに安全なインプラント治療の実現

～インプラント手術支援システム「Landmark System」との連携～

当院では歯科用CTに加え、日本トップシェアであるアイキャット社のインプラント手術支援システム「Landmark System」を採用しています。

■ 診断・治療計画



LANDmarker™

撮影したCTデータをインプラントシミュレーションソフト「LANDmarker」に取り込み、患者さま毎のあごの骨の硬さや形、神経の位置などをより詳細に確認しながら、診断することが可能です。



■ 手術



Landmark Guide™

手術の際には診断した結果をもとにインプラントを精度高く埋入できるようサポートする手術支援器具「Landmark Guide」を作製します。

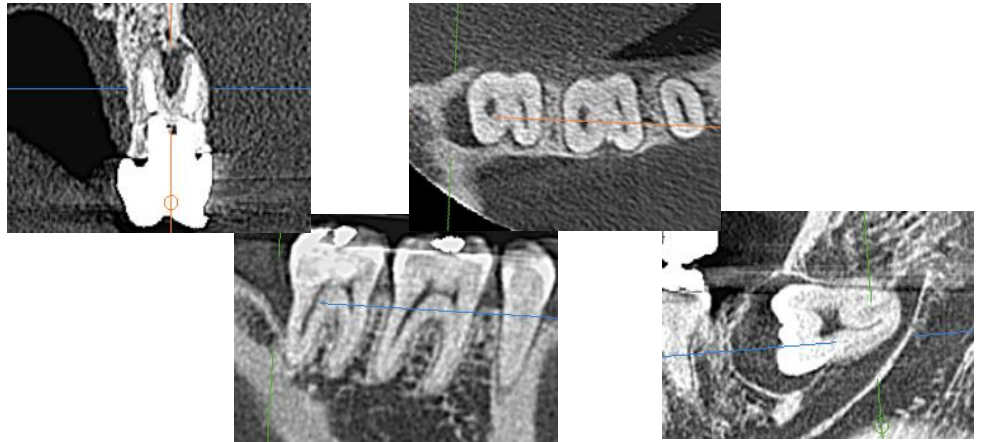
より安心・安全な手術を実現するとともに手術時間を短縮し、患者さまの負担も軽減します。



| その他さまざまな治療もより安全に

当院の歯科用CTは、インプラント治療以外にもさまざまな治療で有効に活用することができます。

- ・歯の根っこの治療
- ・歯周病の治療
- ・親知らずの治療
- ・顎関節症の治療



| 患者様に負担の少ない撮影 ~わずか20秒~

CT撮影というと大掛かりな撮影を想像されるかもしれませんが当院の歯科用CTは短時間(20秒程度)で撮影が完了します。もちろん痛みも何もありません。



| 患者様に優しい低被ばく

CT撮影には被ばくが伴いますが当院の歯科用CTは低被ばくを実現した装置です。医用CT装置の15分の1程度の被ばくです。安心してご撮影いただけます。

